

プロジェクターネットワーク設定ソフトウェア 操作ガイド

パナソニック製品をお買い上げいただきありがとうございます。

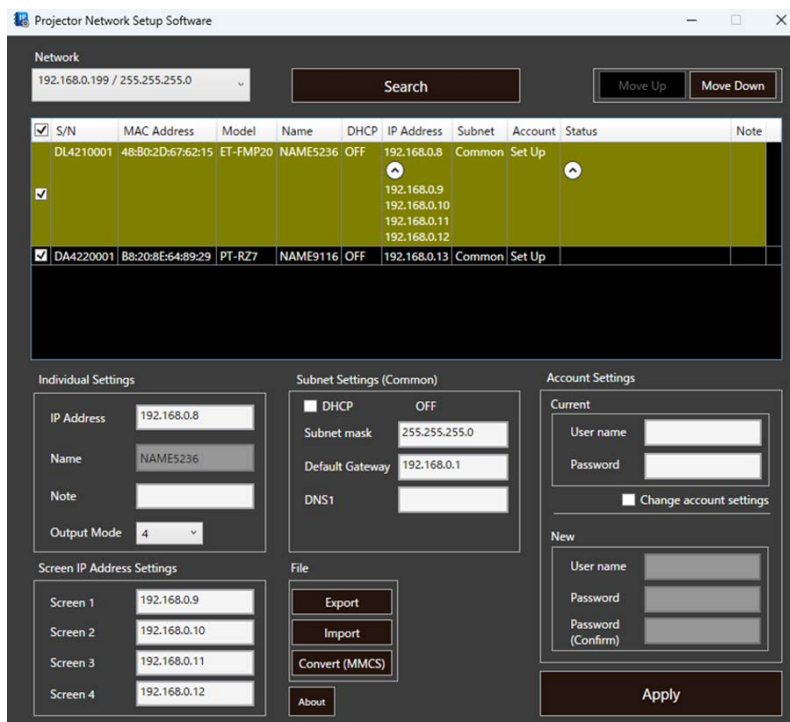
このドキュメントでは、プロジェクターネットワーク設定ソフトウェアの操作方法について説明しています。

■はじめに

本ソフトウェアを使用することで、同じネットワークに接続されている複数のパナソニック プロジェクター&ディスプレイ株式会社製のプロジェクター、メディアプロセッサ、およびメディアプロセッサボード（以下、これらを「機材」といいます）* に対して、管理者アカウントや、IP アドレスなどのネットワーク情報、機材名の設定を一括して行うことができます。

設定済みの管理者アカウントの変更も行うことができます。

*以降、本書ではパナソニック プロジェクター&ディスプレイ株式会社製の「メディアプロセッサ」と「メディアプロセッサボード」を総じて「メディアプロセッサ」と記載します。



■用意するもの

- Microsoft Windows® 11/Microsoft Windows® 10 のいずれかがインストールされた、LAN 端子のあるコンピューター
- LAN ケーブル（ストレートまたはクロス）
システムの構成によってストレートまたはクロスのどちらか、または両方のケーブルを使用可能かどうか異なりますので、ネットワーク管理者に確認してください。機材については、ケーブルの種類（ストレートまたはクロス）を自動的に判別します。
- プロジェクターネットワーク設定ソフトウェア（本ソフトウェア “ProjectorNetworkSetupSoftware.exe”）

■準備

1. ProjectorNetworkSetupSoftware.exe をコンピューター上の任意の場所に置く
 - 本ソフトウェアはインストールの必要がありません。実行ファイルを直接起動して操作します。
2. LAN ケーブルを使用して、コンピューターをネットワークまたは機材に接続する
3. 設定対象のプロジェクターをスタンバイ状態にする、または電源を入れて投写状態にする
設定対象のメディアプロセッサは、電源を入れる
 - [プロジェクターセットアップ] メニューに [スタンバイモード] の項目が存在するプロジェクターの場合、[スタンバイモード] が [ECO] に設定されていると、スタンバイ状態での本ソフトウェアによる管理者アカウントや IP アドレスなどのネットワーク情報、プロジェクター名の設定が行えません。スタンバイ状態で管理者アカウントや IP アドレスなどのネットワーク情報、プロジェクター名の設定を行う場合は、あらかじめメニューを操作して [スタンバイモード] を [ノーマル] に設定してください。
 - プロジェクターがスタンバイ状態のときに、取り付けているメディアプロセッサボードに電源を供給する場合は、あらかじめプロジェクターの [プロジェクターセットアップ] メニューから [SLOT 設定] を選択し、[SLOT スタンバイ] の設定を [有効] にしてください。
[SLOT スタンバイ] を [有効] に設定すると、プロジェクターがスタンバイ状態の際にもボードに電源が供給されます。
[無効] に設定すると、プロジェクターがスタンバイ状態のときはボードへの電源供給が停止します。

■ 使いかた

プロジェクターの設定を変更する場合とメディアプロセッサーの設定を変更する場合は、本ソフトウェアの操作方法が異なります。

プロジェクターを設定する場合： ➡ 3 ページの「操作手順」

メディアプロセッサーを設定する場合： ➡ 10 ページの「操作手順」

プロジェクターを設定する場合

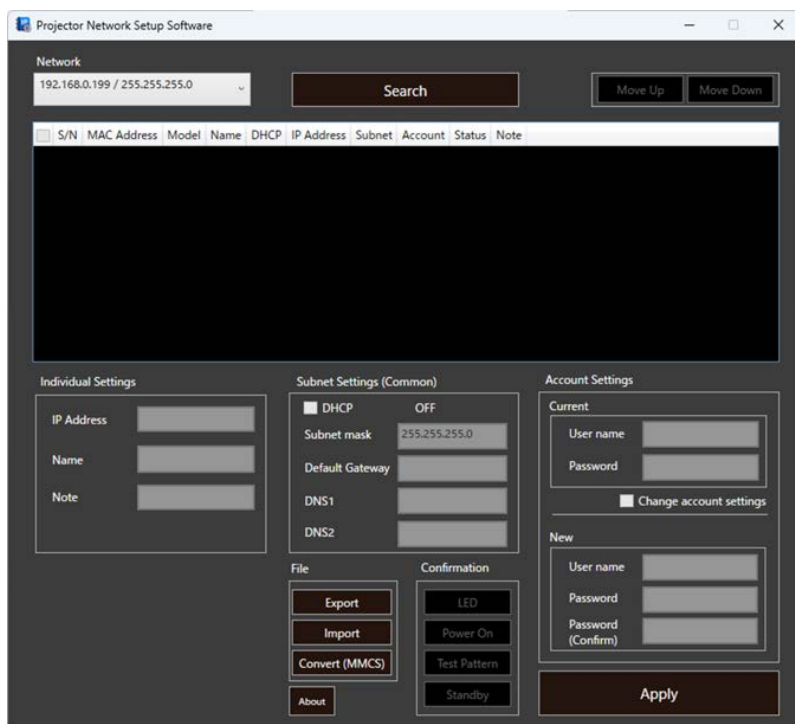
■ 操作手順

本ソフトウェアから LAN 経由で、リストに表示されている 1 台または複数台のプロジェクターに対して、管理者アカウント、ネットワーク情報、プロジェクター名の設定を行います。一括して設定できる機材の上限は 256 台です。設定の方法は、次の 2 種類の方法があります。

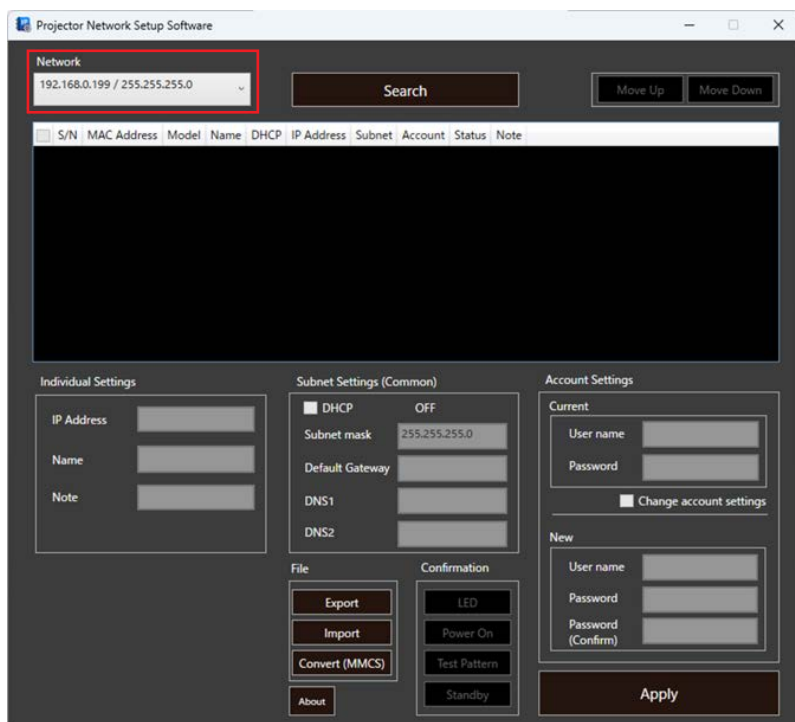
- A) 本ソフトウェア上で設定情報を入力する場合 ➡ 3 ページ
- B) 作成済みの設定情報を読み込んでプロジェクターに反映する場合 ➡ 7 ページ

A) 本ソフトウェア上で設定情報を入力する場合

1. 本ソフトウェア (ProjectorNetworkSetupSoftware.exe) を起動する
 - 以下の画面が表示されます。

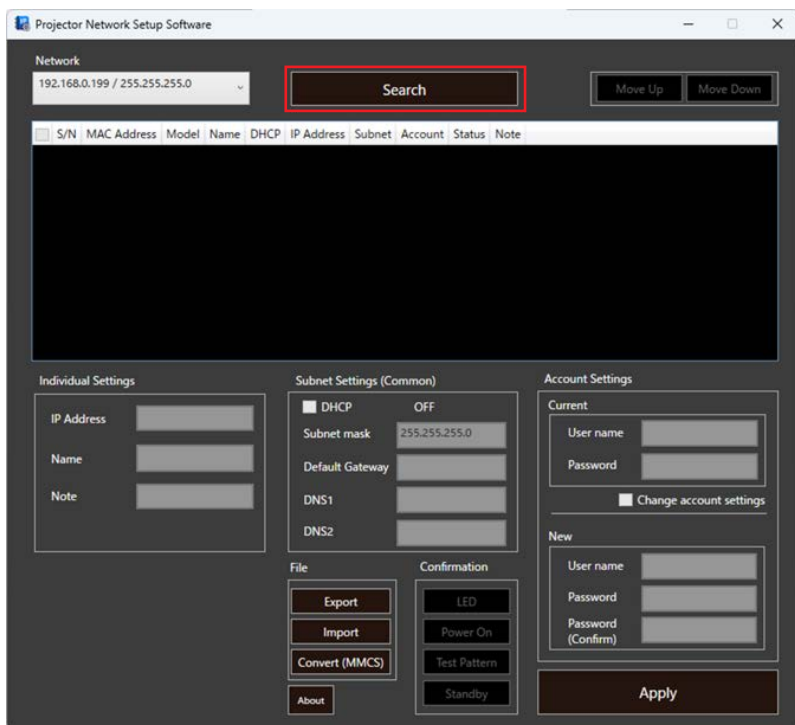


2. [Network] のプルダウンメニューから、このコンピューターを接続しているネットワークを選択する



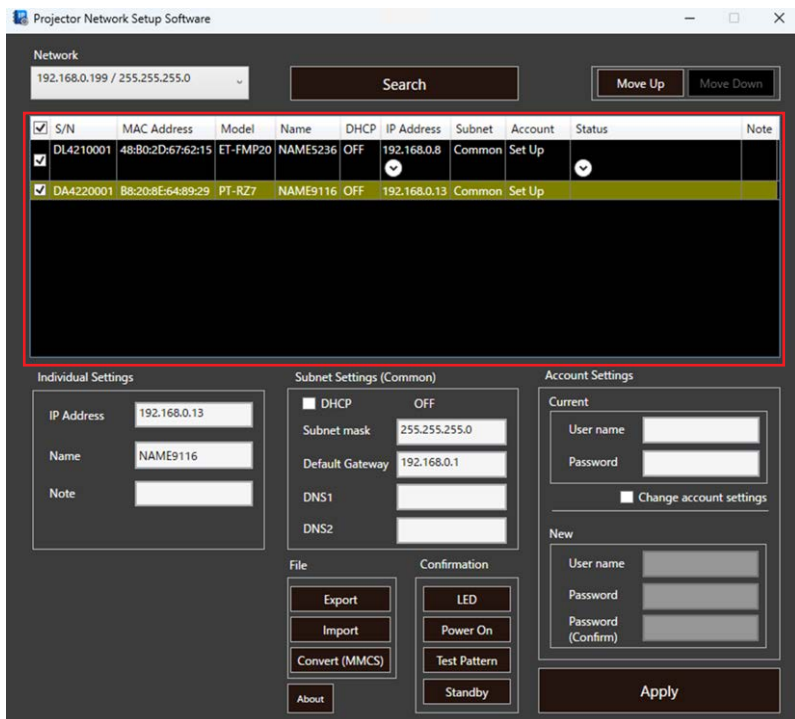
3. [Search] ボタンをクリックする

- ネットワーク上のプロジェクターを検索し、検出したプロジェクターをリストに表示します。
- 検索結果として表示できる機材の上限は 2048 台です。
- 検索の対象は IPv4 で動作するプロジェクターです。IPv6 のみで動作しているプロジェクターは検索や設定ができません。



4. 設定の対象とするプロジェクターのチェックボックスにチェックを入れる

- リストに表示されている検索結果の中から、設定を反映したいプロジェクターの行のチェックボックスにチェックを入れてください。
- 最上部にあるタイトル行のチェックボックスにチェックを入れるとすべての行にチェックが入り、外すとすべての行のチェックが外れます。



- 5. 前の手順でチェックボックスにチェックを入れたプロジェクターのうち、管理者アカウントやネットワーク情報を設定したいプロジェクターの行をクリックして選択する

6. 選択したプロジェクターの管理者アカウントの情報を入力する

- プロジェクターに管理者アカウントを設定しているかどうかに応じてこの後の操作が異なります。
 - 管理者アカウントが未設定のプロジェクターは、[Account] に [Not Set Up] と表示されています。この場合は「(a) 管理者アカウントが未設定の場合」に進みます。
 - 管理者アカウントが設定されているプロジェクターは、[Account] に [Set Up] と表示されています。この場合は「(b) 管理者アカウントが設定されている場合」に進みます。
- ネットワーク情報やプロジェクター名を設定するには、管理者アカウントをあらかじめ設定しておく必要があります。悪意の第三者によるネットワーク情報の変更を防ぐため、ユーザー名とパスワードによるアクセス制限を行ってください。
- 管理者アカウントの設定に使用できる文字と最大文字数について、詳しくは“管理者アカウント設定で使用可能な文字と最大文字数” (▶ 17 ページ) をご覧ください。

(a) 管理者アカウントが未設定の場合

管理者アカウントとして使用するユーザー名とパスワードを、[Account Settings] の [New] の [User name]、[Password]、[Password (Confirm)] に入力してください。

The screenshot shows the 'Account Settings' interface. It has two sections: 'Current' and 'New'. The 'Current' section has fields for 'User name' and 'Password'. The 'New' section has fields for 'User name', 'Password', and 'Password (Confirm)'. A red rectangular box highlights the 'New' section.

(b) 管理者アカウントが設定されている場合

選択したプロジェクターに設定されている管理者アカウントのユーザー名とパスワードを [Account Settings] の [Current] の [User name]、[Password] に入力してください。

The screenshot shows the 'Account Settings' interface. It has two sections: 'Current' and 'New'. The 'Current' section has fields for 'User name' and 'Password'. The 'New' section has fields for 'User name', 'Password', and 'Password (Confirm)'. A red rectangular box highlights the 'Current' section. Below the 'Current' section, there is a checkbox labeled 'Change account settings' which is currently unchecked.

管理者アカウントの情報を変更するときは

[Change account settings] チェックボックスにチェックを入れてください。

変更後の管理者アカウント情報を入力する [Account Settings] の [New] の設定項目が入力可能になります。

変更後のユーザー名とパスワードを [User name]、[Password]、[Password(Confirm)] に入力してください。

The image shows two screenshots of the 'Account Settings' interface connected by a large black arrow pointing from left to right. In the left screenshot, the 'Current' section is highlighted with a red box, and the 'Change account settings' checkbox is unchecked. In the right screenshot, the 'Change account settings' checkbox is checked, and the 'New' section is highlighted with a red box, indicating that the 'New' section is now active for input.

7. 選択したプロジェクターのネットワーク情報を入力する

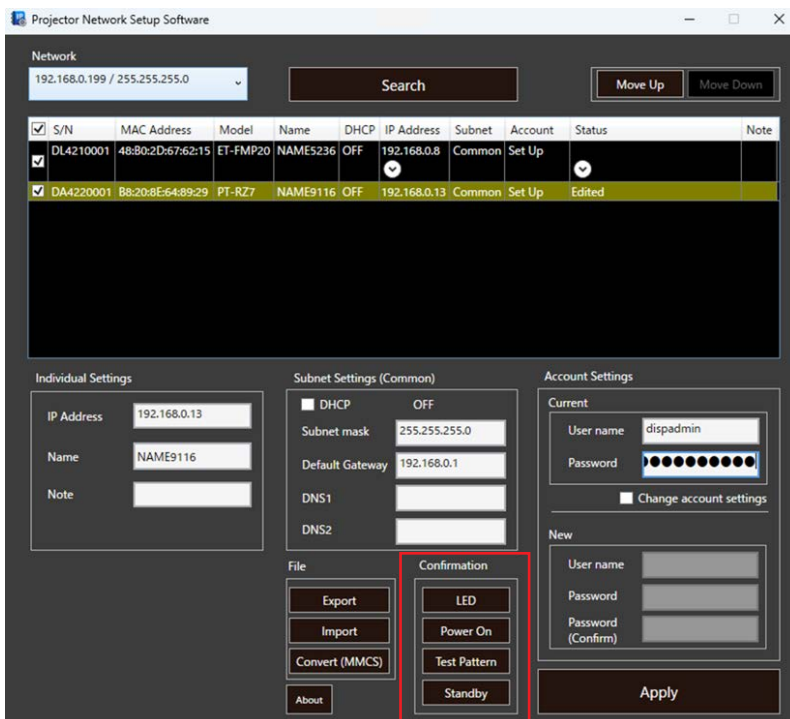
- 本ソフトウェアで設定できる項目については、“設定できる項目”（➡ 17 ページ）をご覧ください。
- IP アドレスを自動的に付与することもできます。[IP Address] を空白、または「*」を使用した表記にすると、空いている IP アドレスが自動的に付与されます。詳しくは、“IP アドレスの自動付与”（➡ 18 ページ）をご覧ください。
- [Subnet Settings (Common)] の [DHCP] が ON になっている場合、[Subnet Settings (Common)] の [Subnet mask]、[Default Gateway]、[DNS 1]、[DNS2] と [Individual Settings] の [IP Address] はグレー表示され、設定はできません。IP アドレスを手動で指定する場合は、チェックボックスのチェックを外して [DHCP] を OFF にしてから各設定項目を入力してください。
- IP アドレスの設定を変更したい場合は [Individual Settings] の [IP Address] を編集してください。[IP Address] の内容を更新すると、プロジェクターのリストの [Status] に [Edited] と表示されます。必要に応じて [Subnet Settings (Common)] の [Subnet mask]、[Default Gateway]、[DNS 1]、[DNS2] を編集してください。

8. [Apply] ボタンをクリックする

- 設定した内容が、リスト上でチェックボックスにチェックが入っているプロジェクターに反映されます。設定が反映されたプロジェクターは、リストの [Status] 列の表示が [OK] に変わります。管理者アカウントが未設定だったプロジェクターは、[Account] の表示が [Set Up] に変わります。
- この操作によって、リスト上でチェックボックスにチェックが入っていたプロジェクターすべてのネットワーク設定情報が上書きされます。上書きしたくないプロジェクターについては、リストのチェックボックスにチェックが入っていないことを事前に確認してください。

お知らせ

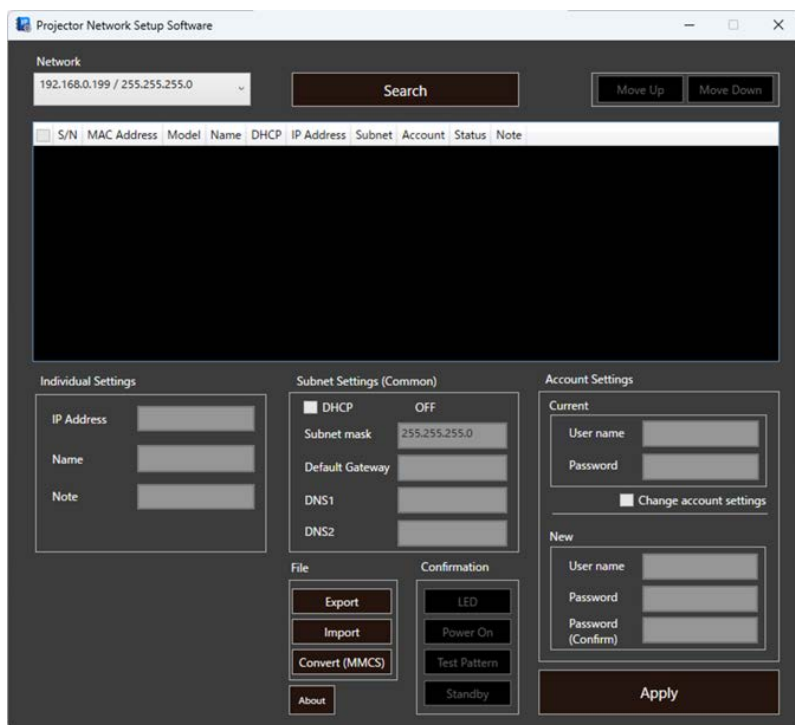
- 設定済みの管理者アカウントの情報を変更する機能は、本機能に対応したプロジェクターのみ実行できます。対応していないプロジェクターに対して実行した場合、[Status] に [Unknown error] と表示され、設定は反映されません。
- 複数のプロジェクターに対して未設定のアカウント情報を設定したり、設定済みの管理者アカウントやネットワーク情報を変更するときは、手順 5 から手順 7 までをプロジェクターごとに繰り返してください。
- 本ソフトウェアにやり直しの機能はありません。ネットワーク設定を誤って上書きした場合はもう一度設定を行ってください。
- 選択中のプロジェクターの所在を確認したい場合は、[LED] ボタンをクリックしてください。該当のプロジェクター本体の電源インジケータ <ON(G)/STANDBY(R)> が 5 秒間点滅します。高所に取り付けられているなど、電源インジケータの点滅状態を確認することが難しい場合は、[Power On] ボタン、[Test Pattern] ボタン、[Standby] ボタンを操作して、投写の開始やテストパターンの表示を確認してください。また、[Confirmation] のボタン操作を行う場合は [Account Settings] の [Current] に管理者アカウントの情報が入力されている必要があります。



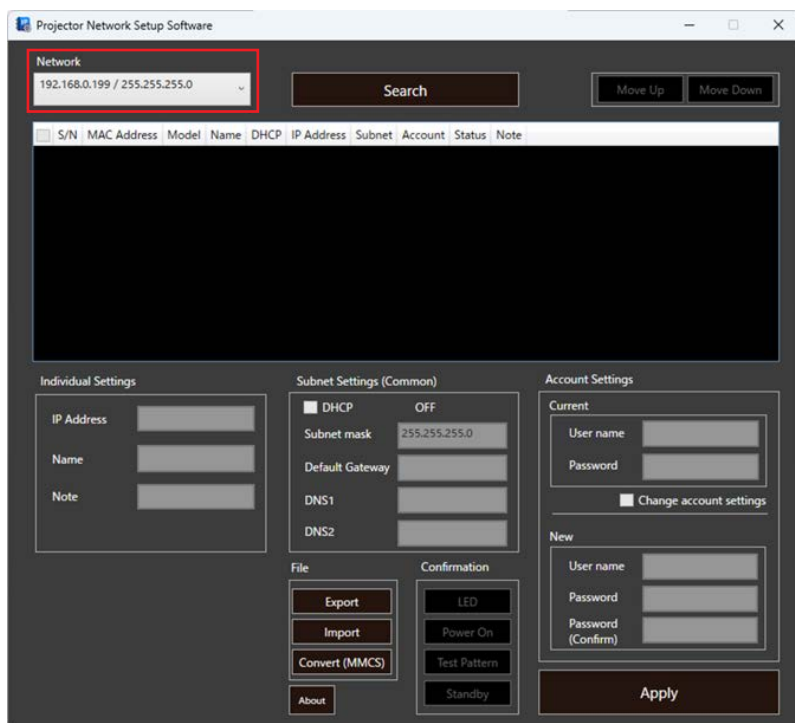
B) 作成済みの設定情報を読み込んでプロジェクターに反映する場合

1. 本ソフトウェア (ProjectorNetworkSetupSoftware.exe) を起動する

- 以下の画面が表示されます。



2. [Network] のプルダウンメニューから、このコンピューターを接続しているネットワークを選択する



3. [Search] をクリックする

- ネットワーク上のプロジェクターを検索し、検出したプロジェクターをリストに表示します。
- 検索結果として表示できる機材の上限は 2048 台です。
- 検索の対象は IPv4 で動作するプロジェクターです。IPv6 のみで動作しているプロジェクターは検索や設定ができません。
- 項目名のみが入力された編集用の CSV ファイルをエクスポートすることもできます。その場合は手順 3 の操作を行わずに、手順 4 に進んでください。

4. [Export] をクリックする

- コンピューターのデスクトップに、リストに表示されているプロジェクターのリストアップファイルが CSV 形式で生成されます。ファイル名は「PNSS」とファイルの生成日時で構成されています。
(例：PNSS20250701000000.csv)
- リストにプロジェクターが表示されていない状態で [Export] をクリックした場合は、項目名のみ入力された編集用の CSV ファイルがエクスポートされます。
- メディアプロセッサを対象とした項目で、プロジェクターで入力が不要な項目については、「Edit Locked」の文字が自動で入力されます。

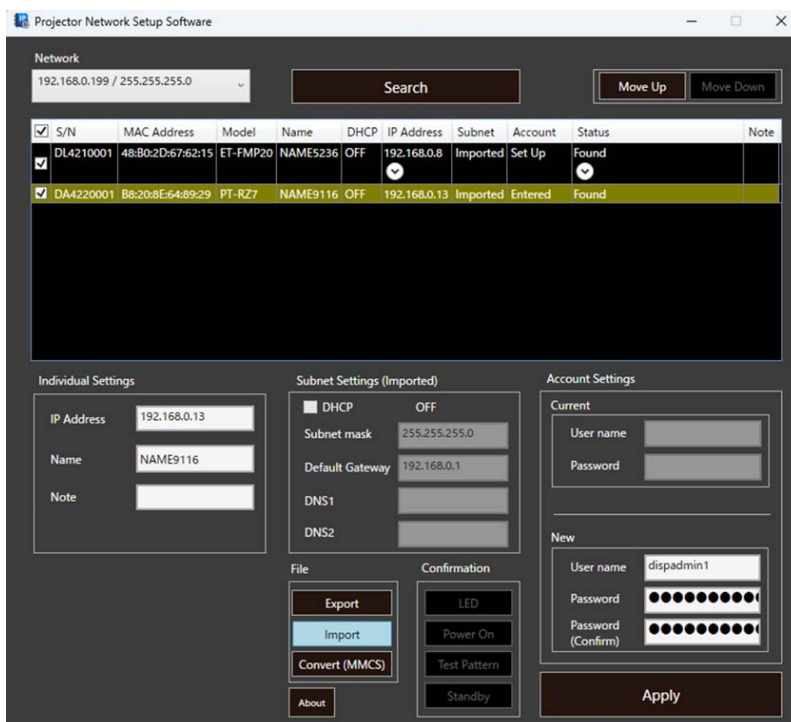
5. CSV ファイルを、Excel などの表計算ソフトやエディターで編集する

- プロジェクターに設定するネットワーク情報 (IP アドレスなど) や、プロジェクターに設定されている管理者アカウントのユーザー名とパスワード、シリアル番号などの機器情報を入力してください。入力できる項目について、詳しくは“CSV ファイルについて” (⇒ 18 ページ) をご覧ください。
- エクスポート時に自動的に入力される「Edit Locked」の文字列は編集しないでください。
- 管理者アカウントが設定されていないプロジェクターについては、必ず管理者アカウントのユーザー名とパスワードも入力してください。リストに表示されているプロジェクターのうち、管理者アカウントが設定されていないプロジェクターの [Account] には [Not Set Up] と表示されています。
- 管理者アカウントのユーザー名に使用できない文字を入力していたり、最大文字数を超過していたりする場合は、プロジェクターへのインポート時にフォーマットエラーと判断され、[Status] に [Format error] と表示されます。入力できる項目について、詳しくは“CSV ファイルについて” (⇒ 18 ページ) をご覧ください。
- IP アドレスの入力は省略することもできます。IP アドレスが入力されていない場合は、接続中のネットワーク内で空いている IP アドレスが自動的に付与されます。詳しくは“IP アドレスの自動付与” (⇒ 18 ページ) をご覧ください。

S/N	MAC Address	Model	Name	DHCP	IP Address	Subnet	Account	Status	Note
DL421000	48:B0:2D:4:ET-FMP2	NAME523	OFF	192.168.0.8	255.255.255.0	192.168.0.1		Edit Locked	
DA422000	B8:20:8E:6:PT-RZ7	NAME911	OFF	192.168.0.13	255.255.255.0	192.168.0.1		Edit Locked	

6. [Import] ボタンをクリックし、修正済みの CSV ファイルを選択する

- [Import] ボタンをクリックせずに、該当の CSV ファイルをリストにドラッグアンドドロップすることでもインポートできます。
- CSV ファイルに記載されているプロジェクターが、選択中のネットワーク内に検出できた場合、[Status] に [Found] と表示されます。検出できなかった場合は [Not Found] と表示されます。
- CSV ファイルのインポートで新たに管理者アカウントを設定する場合は、[Account Settings] の [New] の [User name] と [Password] にその内容が反映されるとともに [Account] の表示が [Entered] になり、IP アドレス等の入力が可能になります。



7. 設定を反映させるプロジェクターをリストから選択する

8. [Apply] ボタンをクリックする

- 選択したプロジェクターに CSV ファイルの内容が反映され、[Status] の表示が [OK] になり、[Account] の表示が [Set Up] になります。

お知らせ

- 本ソフトウェアにやり直しの機能はありません。ネットワーク設定を誤って上書きした場合はもう一度設定を行ってください。

メディアプロセッサを設定する場合

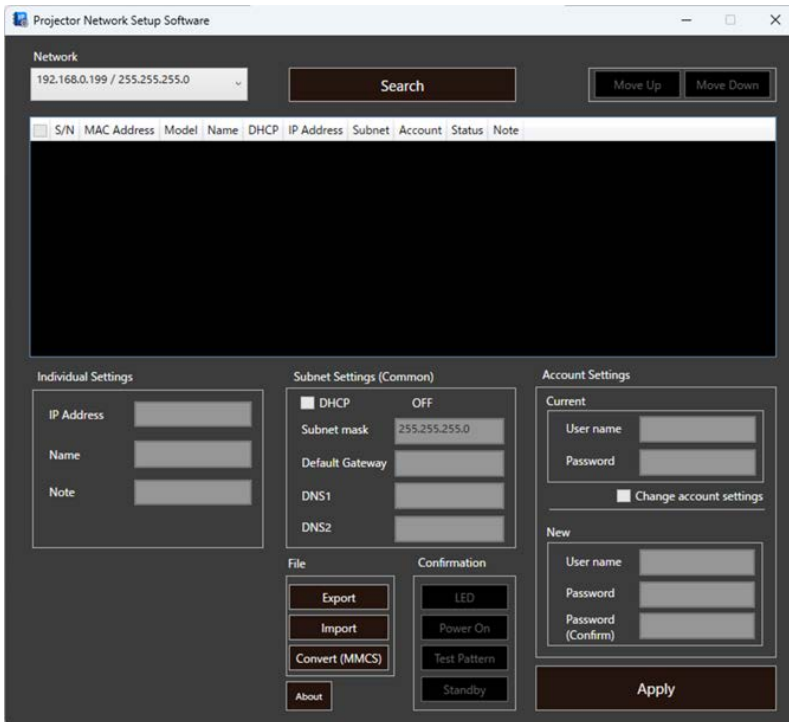
■ 操作手順

本ソフトウェアから LAN 経由で、リストに表示されている 1 台または複数台のメディアプロセッサに対して、管理者アカウント、ネットワーク情報、メディアプロセッサ名の設定を行います。一括して設定できる機材の上限は 256 台です。設定の方法は、次の 2 種類の方法があります。

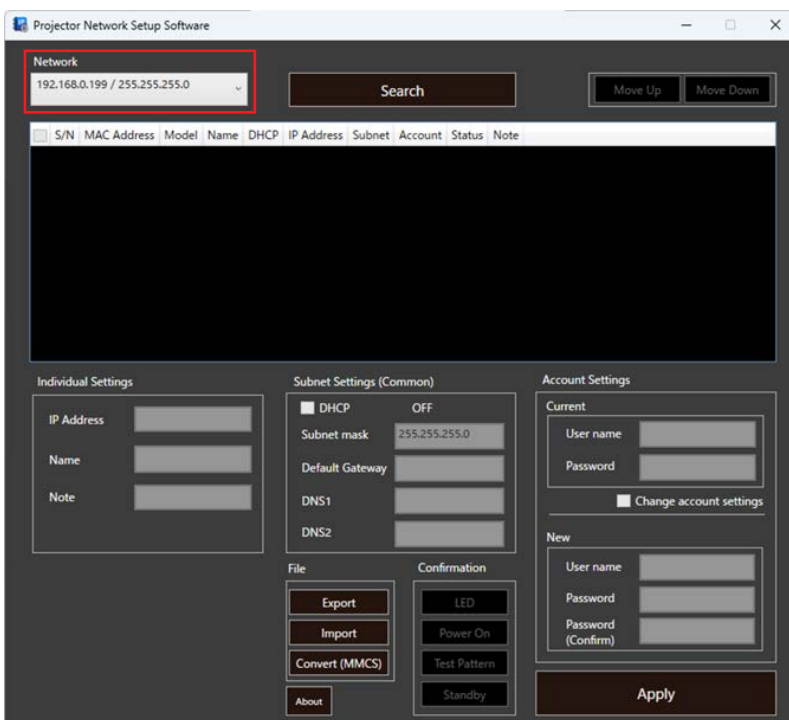
- A) 本ソフトウェア上で設定情報を入力する場合 ➡ 10 ページ
- B) 作成済みの設定情報を読み込んでメディアプロセッサに反映する場合 ➡ 14 ページ

A) 本ソフトウェア上で設定情報を入力する場合

1. 本ソフトウェア (ProjectorNetworkSetupSoftware.exe) を起動する
 - 以下の画面が表示されます。

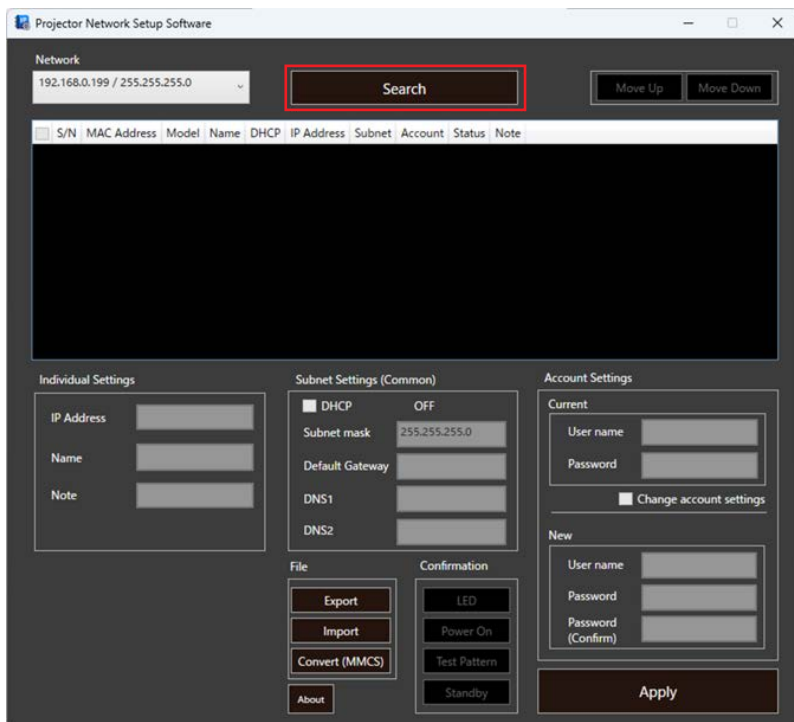


2. [Network] のプルダウンメニューから、このコンピューターを接続しているネットワークを選択する



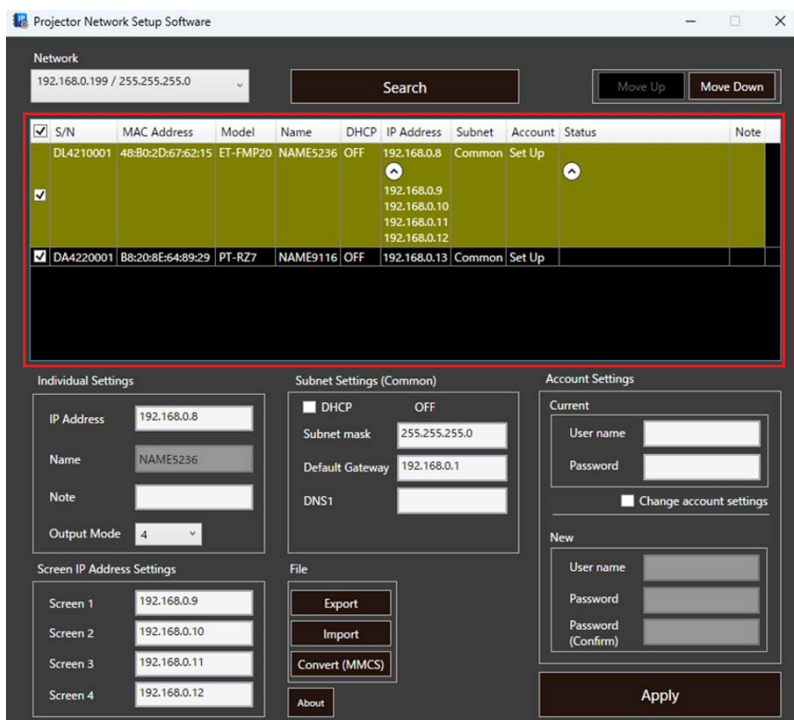
3. [Search] ボタンをクリックする

- ネットワーク上のメディアプロセッサを検索し、検出したメディアプロセッサをリストに表示します。
- 検索結果として表示できる機材の上限は 2048 台です。



4. 設定の対象とするメディアプロセッサのチェックボックスにチェックを入れる

- リストに表示されている検索結果の中から、設定を反映したいメディアプロセッサの行のチェックボックスにチェックを入れてください。
- 最上部にあるタイトル行のチェックボックスにチェックを入れるとすべての行にチェックが入り、外すとすべての行のチェックが外れます。



- 5. 前の手順でチェックボックスにチェックを入れたメディアプロセッサのうち、管理者アカウントやネットワーク情報を設定したいメディアプロセッサの行をクリックして選択する

6. 選択したメディアプロセッサの管理者アカウントの情報を入力する

- メディアプロセッサに管理者アカウントを設定しているかどうかに応じてこの後の操作が異なります。
 - 管理者アカウントが未設定のメディアプロセッサは、[Account] に [Not Set Up] と表示されています。この場合は「(a) 管理者アカウントが未設定の場合」に進みます。
 - 管理者アカウントが設定されているメディアプロセッサは、[Account] に [Set Up] と表示されています。この場合は「(b) 管理者アカウントが設定されている場合」に進みます。
- ネットワーク情報やメディアプロセッサ名を設定するには、管理者アカウントをあらかじめ設定しておく必要があります。悪意の第三者によるネットワーク情報の改変を防ぐため、ユーザー名とパスワードによるアクセス制限を行ってください。
- 管理者アカウントの設定に使用できる文字と最大文字数について、詳しくは“管理者アカウント設定で使用可能な文字と最大文字数”（▶ 17 ページ）をご覧ください。

(a) 管理者アカウントが未設定の場合

管理者アカウントとして使用するユーザー名とパスワードを、[Account Settings] の [New] の [User name]、[Password]、[Password (Confirm)] に入力してください。

The screenshot shows the 'Account Settings' form. The 'Current' section is disabled (greyed out). The 'New' section is active and highlighted with a red border, containing three input fields: 'User name', 'Password', and 'Password (Confirm)'.

(b) 管理者アカウントが設定されている場合

選択したメディアプロセッサに設定されている管理者アカウントのユーザー名とパスワードを [Account Settings] の [Current] の [User name]、[Password] に入力してください。

The screenshot shows the 'Account Settings' form. The 'Current' section is active and highlighted with a red border, containing two input fields: 'User name' and 'Password'. Below it is a checkbox labeled 'Change account settings'. The 'New' section is disabled (greyed out).

管理者アカウントの情報を変更するときは

[Change account settings] チェックボックスにチェックを入れてください。

変更後の管理者アカウント情報を入力する [Account Settings] の [New] の設定項目が入力可能になります。

変更後のユーザー名とパスワードを [User name]、[Password]、[Password(Confirm)] に入力してください。

The diagram shows two screenshots of the 'Account Settings' form connected by a large black arrow pointing right. In the left screenshot, the 'Current' section is active with 'User name' set to 'dispadmin' and 'Password' masked with dots. The 'Change account settings' checkbox is unchecked. In the right screenshot, the 'Change account settings' checkbox is checked, and the 'New' section is active and highlighted with a red border, allowing for new user information to be entered.

7. 選択したメディアプロセッサのネットワーク情報を入力する

- 本ソフトウェアで設定できる項目については、“設定できる項目”（➡ 17 ページ）をご覧ください。
- IP アドレスを自動的に付与することもできます。[IP Address] を空白、または「*」を使用した表記にすると、空いている IP アドレスが自動的に付与されます。詳しくは、“IP アドレスの自動付与”（➡ 18 ページ）をご覧ください。[Output Mode] が「4」の場合、[Screen IP Address Settings] の [Screen 1] から [Screen 4] も同様の方法で IP アドレスを自動的に付与することができます。
- [Subnet Settings (Common)] の [DHCP] が ON になっている場合、[Subnet Settings (Common)] の [Subnet mask]、[Default Gateway]、[DNS 1] と [Individual Settings] の [IP Address]、[Screen IP Address Settings] の [Screen 1] から [Screen 4] はグレー表示され、設定はできません。[Screen IP Address Settings] の [Screen 1] から [Screen 4] は、DHCP による IP アドレスの自動割り当てに対応していないため、メディアプロセッサの Web 制御画面から手動で設定してください。IP アドレスを手動で指定する場合は、チェックボックスのチェックを外して [DHCP] を OFF にしてから各設定項目を入力してください。
- IP アドレスの設定を変更したい場合は [Individual Settings] の [IP Address] を編集してください。[IP Address] の内容を更新すると、メディアプロセッサのリストの [Status] に [Edited] と表示されます。必要に応じて [Subnet Settings (Common)] の [Subnet mask]、[Default Gateway]、[DNS 1] を編集してください。[Output Mode] が「4」の場合、[Screen IP Address Settings] の [Screen 1] から [Screen 4] も同様に編集可能です。

8. [Apply] ボタンをクリックする

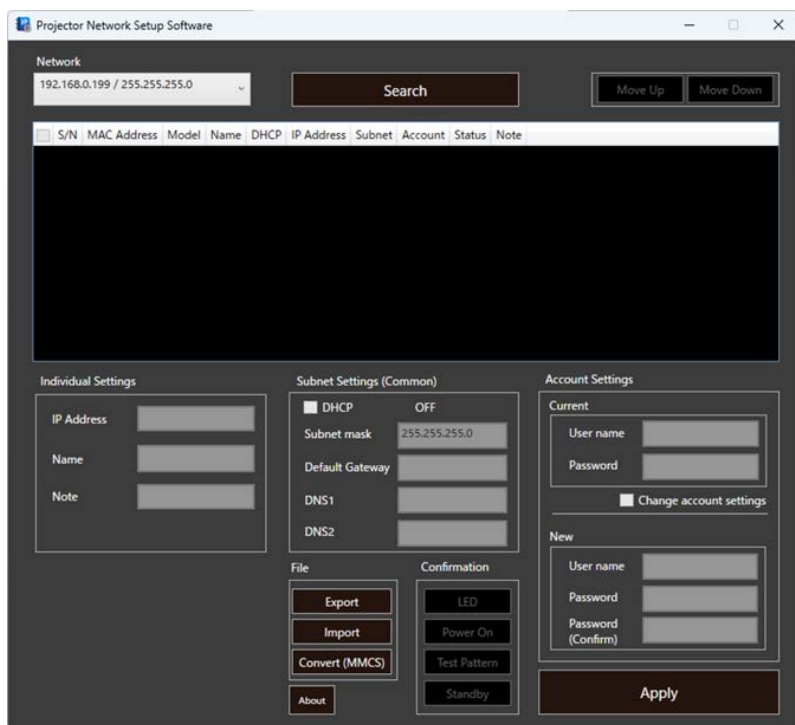
- 設定した内容が、リスト上でチェックボックスにチェックが入っているメディアプロセッサに反映されます。設定が反映されたメディアプロセッサは、リストの [Status] 列の表示が [OK] に変わります。管理者アカウントが未設定だったメディアプロセッサは、[Account] の表示が [Set Up] に変わります。
- この操作によって、リスト上でチェックボックスにチェックが入っていたメディアプロセッサすべてのネットワーク設定情報が上書きされます。上書きしたくないメディアプロセッサについては、リストのチェックボックスにチェックが入っていないことを事前に確認してください。

お知らせ

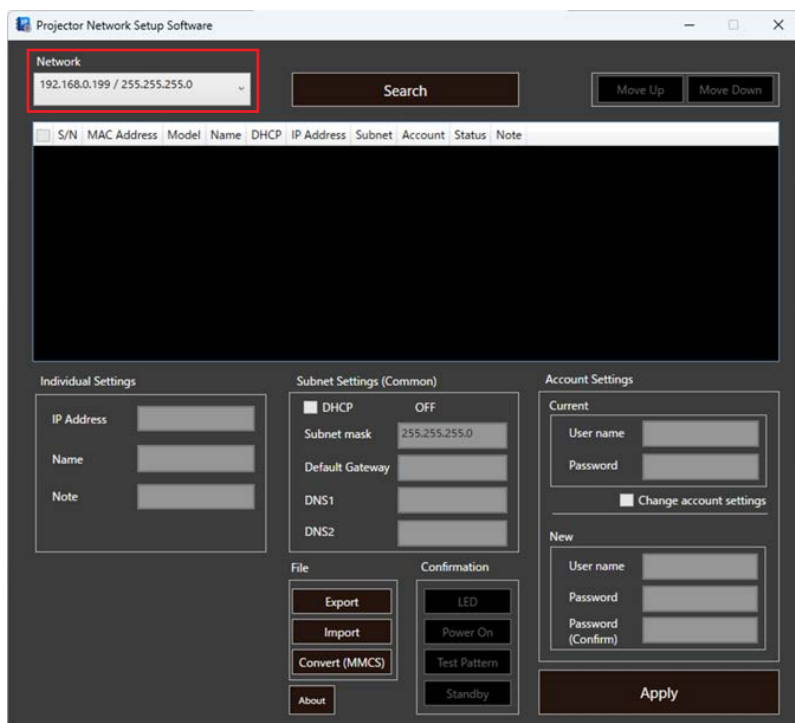
- 設定済みの管理者アカウントの情報を変更する機能は、本機能に対応したメディアプロセッサのみ実行できます。対応していないメディアプロセッサに対して実行した場合、[Status] に [Unknown error] と表示され、設定は反映されません。
- 複数のメディアプロセッサに対して未設定のアカウント情報を設定したり、設定済みの管理者アカウントやネットワーク情報を変更するときは、手順 5 から手順 7 までをメディアプロセッサごとに繰り返してください。
- 本ソフトウェアにやり直しの機能はありません。ネットワーク設定を誤って上書きした場合はもう一度設定を行ってください。

B) 作成済みの設定情報を読み込んでメディアプロセッサに反映する場合

1. 本ソフトウェア (ProjectorNetworkSetupSoftware.exe) を起動する
 - 以下の画面が表示されます。



2. [Network] のプルダウンメニューから、このコンピューターを接続しているネットワークを選択する



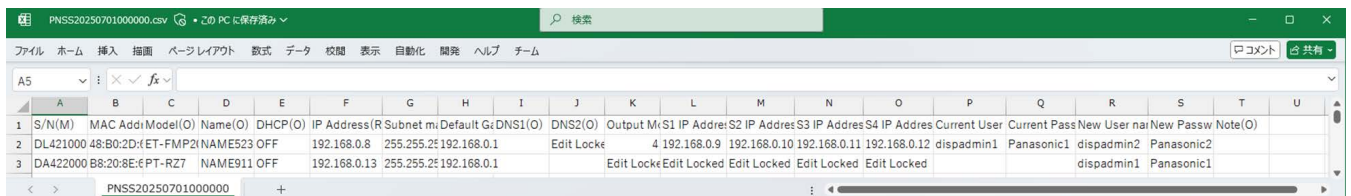
3. [Search] をクリックする
 - ネットワーク上のメディアプロセッサを検索し、検出したメディアプロセッサをリストに表示します。
 - 検索結果として表示できる機材の上限は 2048 台です。
 - 項目名のみが入力された編集用の CSV ファイルをエクスポートすることもできます。その場合は手順 3 の操作を行わずに、手順 4 に進んでください。

4. [Export] をクリックする

- コンピューターのデスクトップに、リストに表示されているメディアプロセッサのリストアップファイルが CSV 形式で生成されます。ファイル名は「PNSS」とファイルの生成日時で構成されています。
(例：PNSS20250701000000.csv)
- リストにメディアプロセッサが表示されていない状態で [Export] をクリックした場合は、項目名のみ入力された編集用の CSV ファイルがエクスポートされます。
- 対象メディアプロセッサで入力が不要な項目については、「Edit Locked」の文字が自動で入力されます。

5. CSV ファイルを、Excel などの表計算ソフトやエディターで編集する

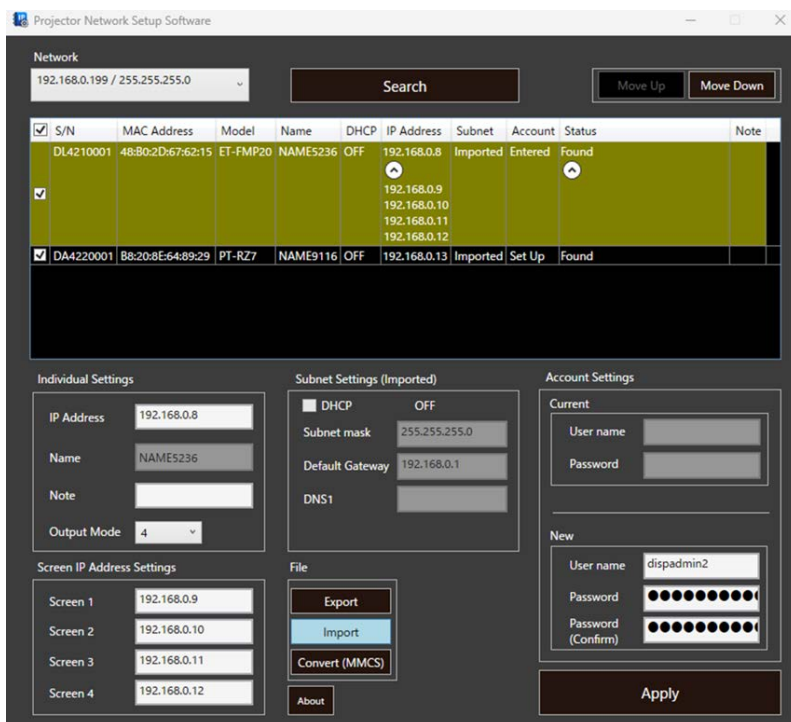
- メディアプロセッサに設定するネットワーク情報 (IP アドレスなど) や、メディアプロセッサに設定されている管理者アカウントのユーザー名とパスワード、シリアル番号などの機器情報を入力してください。入力できる項目について、詳しくは“CSV ファイルについて” (▶ 18 ページ) をご覧ください。
- エクスポート時に自動で入力される「Edit Locked」の文字列は編集しないでください。
- 管理者アカウントが設定されていないメディアプロセッサについては、必ず管理者アカウントのユーザー名とパスワードも入力してください。リストに表示されているメディアプロセッサのうち、管理者アカウントが設定されていないメディアプロセッサの [Account] には [Not Set Up] と表示されています。
- 管理者アカウントのユーザー名に使用できない文字を入力していたり、最大文字数を超えていたりする場合は、メディアプロセッサへのインポート時にフォーマットエラーと判断され、[Status] に [Format error] と表示されます。入力できる項目について、詳しくは“CSV ファイルについて” (▶ 18 ページ) をご覧ください。
- IP アドレスの入力は省略することもできます。IP アドレスが入力されていない場合は、接続中のネットワーク内で空いている IP アドレスが自動的に付与されます。詳しくは“IP アドレスの自動付与” (▶ 18 ページ) をご覧ください。



S/N(M)	MAC Addri Model(O)	Name(O)	DHCP(O)	IP Address(R Subnet m Default G DNS1(O)	DNS2(O)	Output M: S1 IP Address: S2 IP Address: S3 IP Address: S4 IP Address:	Current User	Current Pass	New User nar	New Passw	Note(O)	
DL421000	48:B0:2D:4:ET-FMP21	NAME523	OFF	192.168.0.8	255.255.25.192.168.0.1	Edit Locke	4 192.168.0.9 192.168.0.10 192.168.0.11 192.168.0.12	dispadmin1	Panasonic1	dispadmin2	Panasonic2	
DA422000	B8:20:8E:6:PT-RZ7	NAME911	OFF	192.168.0.13	255.255.25.192.168.0.1	Edit Locke	Edit Locked Edit Locked Edit Locked Edit Locked		dispadmin1	Panasonic1		

6. [Import] ボタンをクリックし、修正済みの CSV ファイルを選択する

- [Import] ボタンをクリックせずに、該当の CSV ファイルをリストにドラッグアンドドロップすることでもインポートできます。
- CSV ファイルに記載されているメディアプロセッサが、選択中のネットワーク内に検出できた場合、[Status] に [Found] と表示されます。検出できなかった場合は [Not Found] と表示されます。
- CSV ファイルのインポートで新たに管理者アカウントを設定する場合は、[Account Settings] の [New] の [User name] と [Password] にその内容が反映されるとともに [Account] の表示が [Entered] になり、IP アドレス等の入力が可能になります。



7. 設定を反映させるメディアプロセッサをリストから選択する

8. [Apply] ボタンをクリックする

- 選択したメディアプロセッサに CSV ファイルの内容が反映され、[Status] の表示が [OK] になり、[Account] の表示が [Set Up] になります。

お知らせ

- 本ソフトウェアにやり直しの機能はありません。ネットワーク設定を誤って上書きした場合はもう一度設定を行ってください。

■ 設定できる項目

本ソフトウェアで設定できる項目は次のとおりです。

✓：対応 (空白)：非対応

項目	入力種別	内容	接続する機材	
			プロジェクター	メディアプロセッサー
IP Address	個別	IP アドレス (IPv4) を設定します。	✓	✓
Name	個別	プロジェクター名を設定します。	✓	
Output Mode	個別	メディアプロセッサーの出力モード (1 または 4) を指定します。		✓*1
Screen IP Address Settings	個別	[Output Mode] を「4」にした場合に、出力先の画面 ([Screen 1] から [Screen 4]) に付与する IP アドレスを設定します。		✓*1
DHCP	共通	DHCP の有効 / 無効を設定します。チェックボックスにチェックを入れると、[IP Address]、[Subnet mask]、[Default Gateway]、[DNS 1]、[DNS 2]*2 の設定内容が自動的に取得されます。	✓	✓
Subnet mask	共通	サブネットマスクを設定します。	✓	✓
Default Gateway	共通	デフォルトゲートウェイの IP アドレスを設定します。未設定でもネットワーク接続が可能です。	✓	✓
DNS 1	共通	1 台目の DNS サーバーの IP アドレスを設定します。未設定でもネットワーク接続が可能です。	✓	✓
DNS 2	共通	2 台目の DNS サーバーの IP アドレスを設定します。未設定でもネットワーク接続が可能です。	✓	
User name	個別	管理者アカウントのユーザー名を設定します。	✓	✓
Password	個別	管理者アカウントのパスワードを設定します。	✓	✓

個別：リストの各行に値を入力すると、それぞれの機材に個別の値が適用されます。

共通：リストに表示されているすべての機材に対して共通の値が適用されます。

*1 メディアプロセッサーボードは該当しません。

*2 メディアプロセッサーは該当しません。

管理者アカウント設定で使用可能な文字と最大文字数

管理者アカウントのユーザー名とパスワードに使用できる文字と最大文字数は次のとおりです。

ユーザー名：「:」を除く 16 文字までの英数字記号

パスワード：16 文字までの英数字記号

プロジェクター名に使用可能な文字と文字数

プロジェクターの名前に使用できる文字と文字数は次のとおりです。

アルファベット：A～Z、a～z

設定前のプロジェクター名に小文字が使用されている場合のみ、小文字を使用可能。

数字：0～9

記号：「-」、「.

文字数：半角 1～8 文字

ただし、設定前のプロジェクター名が 9 文字以上の場合は、その文字数が最大文字数となる。

IP アドレスの自動付与

ネットワーク設定やインポート時に、IP アドレスの入力欄が空欄、または「*」を使用した表記で入力すると、指定しているデフォルトゲートウェイ、DNS を除くサブネットの範囲内で、空いている IP アドレスが自動的に付与されます。メディアプロセッサーを選択し、[Output Mode] を「4」に設定している場合、[Screen 1] から [Screen 4] の IP アドレスも同様に自動付与が可能です。

次の表は本ソフトウェアを実施するコンピューターのネットワーク設定例です。

設定項目	プロジェクター	メディアプロセッサー
IP アドレス	192.168.10.20	192.168.10.20
サブネットマスク	255.255.255.0	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.10.1	192.168.10.1
DNS1	192.168.10.2	192.168.10.2
DNS2	192.168.10.3	(設定なし)

本ソフトウェアを実施しているコンピューターから、次の表の「IP アドレスの入力例」を入力し、ネットワーク設定やインポートを実施すると、「自動付与される IP アドレス」が付与されます。「*」は必ず文字の末尾に入力してください。途中に入力した場合は、それ以降の文字が無視されます。

IP アドレスの入力例	自動付与される IP アドレス	
	プロジェクター	メディアプロセッサー
空欄	192.168.10.4 以降で空いている IP アドレス	192.168.10.3 以降で空いている IP アドレス
*	192.168.10.4 以降で空いている IP アドレス	192.168.10.3 以降で空いている IP アドレス
192.*	192.168.10.4 以降で空いている IP アドレス	192.168.10.3 以降で空いている IP アドレス
192.168.10.1*	192.168.10.10 以降で空いている IP アドレス	
192.168.10.2*	192.168.10.21 以降で空いている IP アドレス (実施しているコンピューターの IP アドレス「192.168.10.20」は除く)	
192.168.10.10*	192.168.10.100 以降で空いている IP アドレス	

お知らせ

- 空いている IP アドレスがない場合は警告が表示され、自動付与は実行されません。

■ CSV ファイルについて

エクスポートされた CSV ファイルには、ネットワーク設定に必要なシリアル番号や IP アドレスなどが記載されています。

CSV ファイルの例：

S/N(M),MAC Address(O),Model(O),Name(O),DHCP(O),IP Address(R),Subnet mask(O),Default Gateway(O),DNS1(O),DNS2(O),Output Mode(M),S1 IP Address(M),S2 IP Address(M),S3 IP Address(M),S4 IP Address(M),Current User name(M),Current Password(M),New User name(M),New Password(M),Note(O)
SD0000001,00:00:00:00:00:01,PT-VMZ51,Name0001,OFF,192.168.10.101,255.255.255.0,192.168.10.1,192.168.10.1,,Edit Locked,Edit Locked,Edit Locked,Edit Locked,Edit Locked,admin1,panasonic,,
SD0000002,00:00:00:00:00:02,PT-VMZ51,Name0002,OFF,192.168.10.101,255.255.255.0,192.168.10.1,192.168.10.1,,Edit Locked,Edit Locked,Edit Locked,Edit Locked,Edit Locked,admin1,panasonic,,
SD0000003,00:00:00:00:00:03,ET-FMP50,Name0003,OFF,192.168.10.101,255.255.255.0,192.168.10.1,192.168.10.1,Edit Locked,4,192.168.10.1,192.168.10.2,192.168.10.3,192.168.10.4,admin1,panasonic,,
SD0000004,00:00:00:00:00:04,ET-FMP50,Name0004,OFF,192.168.10.101,255.255.255.0,192.168.10.1,192.168.10.1,Edit Locked,1,,,,,admin1,panasonic,,

1 行目は各項目名を表しています。リストに機材が表示されていない場合、項目名のみ CSV ファイルが出力されます。項目名は削除しないでください。

各項目名の右にある、M、R、O の記号は各項目の入力の必要性を表しています。記号の内容は次の表のとおりです。

記号	必要性
M (Mandatory)	必ず入力してください。Current User name、Password、New User name、Password は管理者アカウントの設定状況によっては入力不要です。 メディアプロセッサーを選択し、Output Mode に「1」を入力している場合、S1 IP Address、S2 IP Address、S3 IP Address、S4 IP Address への入力は不要です。 また、対象メディアプロセッサーによっては Output Mode および S1 IP Address、S2 IP Address、S3 IP Address、S4 IP Address が設定不可のため、入力不要です。
R (Recommended)	自動的に付与される場合がありますが、入力が必要になることもあります。
O (Optional)	必要に応じて入力してください。未入力でもネットワーク接続が可能です。

2 行目以降の各行は次の項目から構成されています。

項目	記号	内容
S/N	M	対象機材のシリアル番号です。
MAC Address	O	対象機材のMACアドレスです。[S/N]が入力されておらず、MACアドレスが入力されている場合でも、ネットワーク設定の実施が可能です。
Model	O	対象機材のモデル名です。本項目はネットワーク設定には使用しません。未入力の場合、選択されたLAN上のS/NまたはMACアドレスが一致する機材のモデル名が入力されます。
Name	O	対象機材に設定する名前です。未入力の場合、選択されたLAN上のS/NまたはMACアドレスが一致する機材名が入力されます。
DHCP	O	対象機材に [DHCP] を設定するかどうかを [ON] または [OFF] で指定します。未入力の場合は [OFF] と同じ扱いになります。[ON] にしたときは、[IP Address]、[Subnet mask]、[Default Gateway]、[DNS 1]、[DNS 2]* ³ は設定できなくなります。
IP Address	R	対象機材に設定する IP アドレス (IPv4) を入力します。[DHCP] を [OFF] にしているときに IP アドレスが未入力の場合、または「*」を使用した表記の場合は、選択している LAN 内で重複しない有効な IP アドレスが自動で付与されます。
Subnet mask	O	対象機材に設定するサブネットマスクを入力します。[DHCP] を [OFF] にしているときに [Subnet mask] を未入力にした場合は、[Subnet Settings (Common)] の [Subnet mask] の値がネットワーク設定の実施時に使用されます。
Default Gateway	O	対象機材に設定するデフォルトゲートウェイの IP アドレスを入力します。未設定でもネットワーク接続が可能です。[DHCP] を [ON] にした場合は入力不要です。
DNS 1	O	1 台目の DNS サーバーの IP アドレスを入力します。未設定でもネットワーク接続が可能です。[DHCP] を [ON] にした場合は入力不要です。
DNS 2	O	プロジェクターを設定する場合：2 台目の DNS サーバーの IP アドレスを入力します。未設定でもネットワーク接続が可能です。[DHCP] を [ON] にした場合は入力不要です。 メディアプロセッサを設定する場合：入力不要のため、エクスポート時に自動で入力される「Edit Locked」の文字列は編集しないでください。
Output Mode	M	プロジェクターを設定する場合：入力不要のため、エクスポート時に自動で入力される「Edit Locked」の文字列は編集しないでください。 メディアプロセッサを設定する場合：対象メディアプロセッサの出力モード (1 または 4) を入力します。対象メディアプロセッサによっては出力モードが設定不可のため、エクスポート時に自動で入力される「Edit Locked」の文字列は編集しないでください。
S1 IP Address	M	プロジェクターを設定する場合：入力不要のため、エクスポート時に自動で入力される「Edit Locked」の文字列は編集しないでください。 メディアプロセッサを設定する場合：対象メディアプロセッサの Screen 1 用の IP アドレスを入力します。[Output Mode] を [1] にしているときは入力不要です。対象メディアプロセッサによっては Screen 1 用の IP アドレスが設定不可のため、エクスポート時に自動で入力される「Edit Locked」の文字列は編集しないでください。
S2 IP Address	M	プロジェクターを設定する場合：入力不要のため、エクスポート時に自動で入力される「Edit Locked」の文字列は編集しないでください。 メディアプロセッサを設定する場合：対象メディアプロセッサの Screen 2 用の IP アドレスを入力します。[Output Mode] を [1] にしているときは入力不要です。対象メディアプロセッサによっては Screen 2 用の IP アドレスが設定不可のため、エクスポート時に自動で入力される「Edit Locked」の文字列は編集しないでください。
S3 IP Address	M	プロジェクターを設定する場合：入力不要のため、エクスポート時に自動で入力される「Edit Locked」の文字列は編集しないでください。 メディアプロセッサを設定する場合：対象メディアプロセッサの Screen 3 用の IP アドレスを入力します。[Output Mode] を [1] にしているときは入力不要です。対象メディアプロセッサによっては Screen 3 用の IP アドレスが設定不可のため、エクスポート時に自動で入力される「Edit Locked」の文字列は編集しないでください。
S4 IP Address	M	プロジェクターを設定する場合：入力不要のため、エクスポート時に自動で入力される「Edit Locked」の文字列は編集しないでください。 メディアプロセッサを設定する場合：対象メディアプロセッサの Screen 4 用の IP アドレスを入力します。[Output Mode] を [1] にしているときは入力不要です。対象メディアプロセッサによっては Screen 4 用の IP アドレスが設定不可のため、エクスポート時に自動で入力される「Edit Locked」の文字列は編集しないでください。

項目	記号	内容
Current User name	M * ¹	対象機材に設定されている管理者アカウントのユーザー名を入力します。管理者アカウントが未設定の場合は、入力不要です。
Current Password	M * ¹	対象機材に設定されている管理者アカウントのパスワードを入力します。管理者アカウントが未設定の場合は、入力不要です。
New User name	M * ²	対象機材に管理者アカウントが未設定の場合、または設定されている管理者アカウントを変更したい場合に、設定する管理者アカウントのユーザー名を入力します。16文字までの英数字と記号を使用できます。
New Password	M * ²	対象機材に管理者アカウントが未設定の場合、または設定されている管理者アカウントを変更したい場合に、設定する管理者アカウントのパスワードを入力します。16文字までの英数字と記号を使用できます。
Note	O	対象機材の補足情報などを半角の英数字と記号で入力します。ネットワーク設定には使用しませんが、本ソフトウェアのリストに表示されます。また、リストに表示されるのは32文字までですが、32文字を超える情報を入力できます。

*1 管理者アカウントが未設定の場合は入力不要です。

*2 管理者アカウントを設定する場合、または設定済みの情報を変更する場合に入力してください。

*3 メディアプロセッサは該当しません。

CSV ファイルについての注意点

- ユーザー名とパスワードの先頭が記号（例：@Panasonic）の場合、Excel でユーザー名とパスワードを変更しようとすると Excel の関数として認識されることがあります。この場合、該当のセルのみメモ帳などのエディターで変更してください。該当するセル以外は Excel で変更することが可能です。

■ ステータス

リストの [Status] に次のステータスが表示されます。OK、Edited、Found 以外のステータスが表示されている機材の情報はすべて赤文字で表示されます。

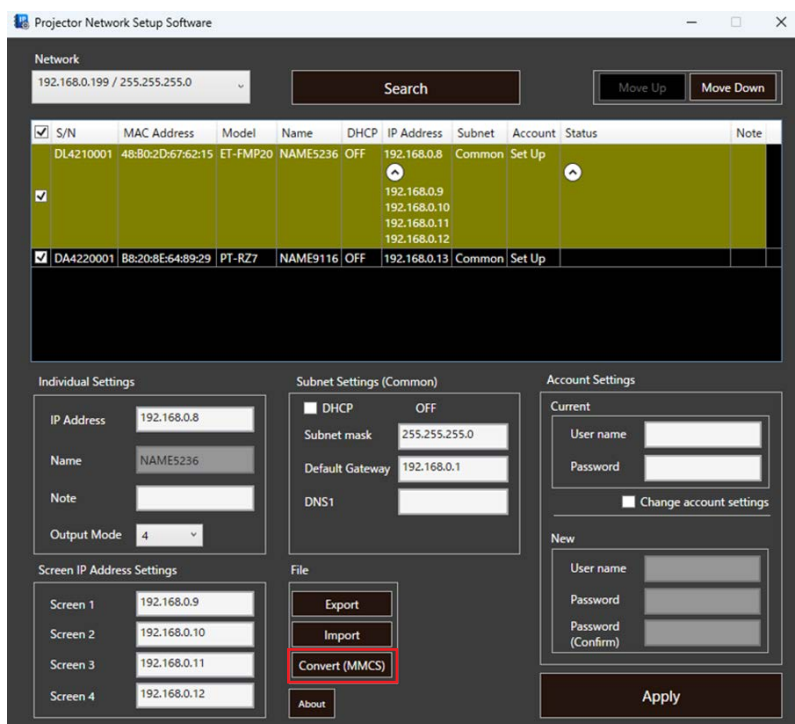
Status	状態
OK * ¹	機材の所在確認や、ネットワーク設定に成功した。
Edited * ¹	機材の設定情報を編集済み。
Found	機材が LAN 内で見つかった。
Not found	機材が LAN 内で見つからなかった。
Format error	インポートファイルのフォーマットエラー。
IP Address overlapped * ¹	LAN に重複した IP アドレスがある。
Invalid IP Address * ¹	不正の IP アドレス。
No unused IP Address * ¹	IP アドレス自動付与時、指定範囲内で空いている IP アドレスがない。
Invalid Current Account Settings	[Account Settings] の [Current] に入力している管理者アカウント情報が、機材に設定されている管理者アカウント情報と一致しない。
Invalid New Account Settings	[Account Settings] の [New] に入力している管理者アカウント情報が不正。 (ユーザー名が指定されていない。パスワード、確認用パスワードが一致していない。)
Operation not allowed	ネットワークメニューを操作中のためネットワーク設定に失敗した。
Unknown error	何らかの理由で本体がネットワーク設定を受け付けなかった。
Designated IP Address not set * ¹	ネットワーク設定を実施したが指定の IP アドレスが設定されていない。
DHCP not serve IP Address * ¹	DHCP を ON にしたが IP アドレスが付与されていない。
Response timeout	ネットワーク設定を実施したが、本体からの通信がタイムアウトした。

*1 メディアプロセッサを選択し、[Output Mode] を「4」に設定している場合、[Screen 1] から [Screen 4] の IP アドレスごとに表示されます。

■ 複数台監視制御ソフトウェアとの連携

本ソフトウェアで設定した内容を複数台監視制御ソフトウェアに取り込むことができます。取り込み方法は次のとおりです。

1. ネットワークを選択して機材を検索し、[Convert (MMCS)] ボタンをクリックする



- 「MMCS」に年、月、日、時、分、秒がついた名前のUGKファイル（例:MMCS20180412170704.ugk）がデスクトップに作成されます。
2. 複数台監視制御ソフトウェアを起動し、[機材管理] > [外部設定ファイルのインポート] > [Geometry Manager Pro] メニューから機材の登録情報ファイル（拡張子：.ugk）を取り込む
- 複数台監視制御ソフトウェアに機材の情報が取り込まれます。

■ 商標などについて

Windows、Excel は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。